

オープンセミナー Open Seminar



CAMFES NEWS vol.3



受験生向けイベントサイト



5/24
SUN
10:00~15:00

■ オープンセミナーについて

◆ポイント1

体験講義や
体験イベントを
実施します！

◆ポイント2

先生や在学生と
気軽に話せる相談コーナー
をご用意しております！

◆ポイント3

大学案内2016
配布開始予定！

■ TIME SCHEDULE イベントの詳細は、裏面をcheck！

2015.5.24		1030	1100	1200	1300	1400	1500
受付	B棟4Fエレベーターホール (全学科)	【昼食について】生協購買にて軽食を販売しています。ぜひご利用ください。					
	B-412 ニチジュウCafé (全学科)	10:30~15:00随時 資料配布・過去入試問題閲覧 入試に関する相談はこちらでどうぞ！					
各 学 科 R O O M	B-413 F-ROOM (食品科学科)	▼研究室紹介&相談コーナー 10:30~15:00随時 パネルの展示で研究室を紹介いたします。学科に関する相談も受付中！ ▼体験講義「食の安全を育む水質の検出」10:30~+体験型イベント「食品に混入したアレルギー物質を検出してみよう」11:10~ 10:30~11:50 (80分)					
	B-414 Z-ROOM (動物科学科)	▼研究室紹介&相談コーナー 10:30~15:00随時 パネルの展示で研究室を紹介いたします。学科に関する相談も受付中！ 体験講義「季節を告げる遺伝子たち」13:40~+体験型イベント「遺伝子を見てみよう」14:20~▼ 13:40~15:00 (80分)					
	B-415 N-ROOM (獣医保健看護学科)	▼研究室紹介&相談コーナー 10:30~15:00随時 パネルの展示で研究室を紹介いたします。学科に関する相談も受付中！ ▼体験講義+体験型イベント「いろんな動物のバイタルサインを調べてみよう！」 10:30~11:50 (80分)					
	B-416 V-ROOM (獣医学科)	▼研究室紹介&相談コーナー 10:30~15:00随時 パネルの展示で研究室を紹介いたします。学科に関する相談も受付中！ ▼体験講義「獣医腫瘍学入門 一犬・猫のリンパ腫」 12:30~13:30 (60分)					

日本獣医生命科学大学

獣医学部 応用生命科学部
| 獣医学科 | 獣医保健看護学科 | 動物科学科 | 食品科学科

お問い合わせ先 入試広報センター TEL:0422-31-4151
e-mail:kouhou@nvlu.ac.jp

■ 詳細は日本獣医生命科学大学ホームページへ！

日本獣医生命科学大学

検索

<http://www.nvlu.ac.jp/>

LINE@で受験生向け情報を配信中



@nvlukouhou

- QRコードを読み込む
- ID検索: @nvlukouhou
- 「友達」画面で「日本獣医生命科学大学」を検索



オープンセミナー Open Seminar

イベントの
詳細をcheck!

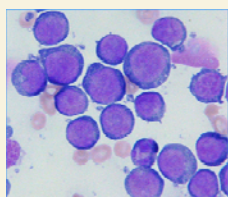
5/24 (日) 時間10:30~15:00 (受付開始10:00~) 申込不要

獣医学科

【体験講義】

「獣医腫瘍学入門 -犬・猫のリンパ腫-」

●講師: 獣医学科 助教 田村 恭一
(臨床獣医学部門 治療学分野 I)
◆会場: B-416 ◆時間: 12:30~13:30



近年、飼育環境の向上により伴侶動物の寿命が延び、その結果、犬・猫の腫瘍性疾患が著しく増加しています。特に、リンパ腫は犬・猫ともに最もよく認められる造血系腫瘍であり、診断や治療に関して最も研究が進んでいる疾患のひとつです。今回、犬・猫のリンパ腫について、近年小動物臨床において

一般的になりつつある分子生物学的な手法を用いた検査を中心にをご紹介します！

獣医保健看護学科

【体験講義+体験型イベント】

「いろんな動物のバイタルサインを調べてみよう！」

●講師: 獣医保健看護学科 教授 袴田 陽二
(獣医保健看護学基礎部門)
◆会場: B-415 ◆時間: 10:30~11:50



バイタルサイン(Vital signs)とは、動物が生きている兆候(サイン)のことで、体温、心拍数、呼吸数、血圧さらには行動、痛みの反応などが含まれます。バイタルサインは基本的に自律神経で調節されていて、動物が興奮したり、リラックスしたりすると変動し、動物の状態を把握するよい指標となります。今回のセミナーではヒト、犬、ウサギ、ネズミのバイタルサインを実測し、動物間の比較をしてみましょう。



ニチジュウCafe

◆会場: B-412 ◆時間: 10:30~15:00

進学相談や休憩場所として、『ニチジュウCafe』を開催します。入試のことなど何でもご相談ください。大学事務職員が気軽に楽しくお茶をしながら、お答えします。また、大学紹介DVDも随時放映！資料の配布コーナーや入試問題の閲覧などができるコーナーも設置してあります。

昼食について

◆2号館1階生協購買部 ◆時間: 10:30~15:00

生協購買にて軽食を販売しています。ニチジュウCafeや生協食堂を休憩室としてご用意しておりますので、軽食は、そちらでお召し上がりください。もし軽食が売り切れてしまった場合は、申し訳ありませんが大学近くにてご購入ください。

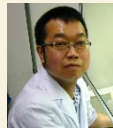


動物科学科

【体験講義】

「季節を告げる遺伝子たち」

●講師: 動物科学科 准教授 中尾 暢宏(動物生理制御学)
◆会場: B-414 ◆時間: 13:40~14:20



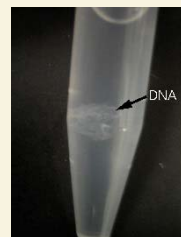
春になると桜が咲き、小鳥はさえずり、生命の躍動を感じます。私たちは、カレンダーや時計を利用して「時」を知りますが、動植物は如何に「時」を測り「春」の到来を感知しているのでしょうか。生命の設計図とも言われるゲノム(遺伝子の集合体)には、様々な遺伝情報が書き込まれています。遺伝情報がどの様に読み取られて動物が「時」を測り季節に適応した生理現象を起こしているのか遺伝子レベルで紹介いたします！

【体験型イベント】

「遺伝子を見てみよう！」

●講師: 動物科学科 准教授 中尾 暢宏(動物生理制御学)
◆会場: B-414 ◆時間: 14:20~15:00

生物の生理機能を制御している遺伝子は、必要な場所で必要な時に遺伝情報から読み取られます。遺伝情報は、デオキシリボ核酸(DNA)がもっており、DNAをもとにリボ核酸(RNA)が合成されることによりRNAに伝達され(転写)、RNAの遺伝情報は機能をもったタンパク質へと変わっていきます(翻訳)。この流れ(セントラルドグマ)に沿って遺伝情報から機能を持つタンパク質が細胞内で作られます。体験実験では、遺伝子を見てその働きを観察します！



食品科学科

【体験講義】

「食の安全を脅かす物質の検出」

●講師: 食品科学科 教授 吉田 充(食品安全学)
◆会場: B-413 ◆時間: 10:30~11:10



食の安全を脅かす物質には、病原菌やカビが作る毒素、重金属や放射性物質のような環境汚染物質、アレルギーを引き起こす物質アレルゲン、調理・加工中に食品成分の熱反応で生じる発がん物質などいろいろなものがあります。食の安全を守るために、検査機関や分析機関がどのような検査や分析を行って有害物質を調べているのか、その方法について原理の簡単な説明を含めて解説します。

【体験型イベント】

「食品に混入したアレルギー物質を検出してみよう」

●講師: 食品科学科 教授 吉田 充(食品安全学)
◆会場: B-413 ◆時間: 11:10~11:50

健康に悪影響を与える物質を短時間で手軽に検出する方法として、免疫化学を利用した方法があり、大腸菌O157などの食中毒菌、残留農薬、アレルゲンの検出に使われています。この方法は、高価な精密分析機器を必要とせず、簡単な実験操作で目的の物質の検出ができるので、農場や食品工場のような食品の生産現場での有害物質の検出に利用されています。本セミナーでは、食物アレルギーを引き起こすことがあるソバのタンパク質を、免疫化学的方法で実際に検出してみましょう。

